



昔の更衣・現代の衣替

秋になり、長袖を着ることが増えてきました。季節に合わせて衣服を変える「衣替え」。この習慣が、いつから始まり、どんなふうに変化してきたか知っていますか？

平安時代には「更衣(こうい)」といって宮中の年中行事でした。旧暦の4月1日から夏装束に、10月1日からは冬装束に改める習慣で、後醍醐天皇が著した『建武年中行事』には宮中の更衣は、装束だけでなく、調度類も季節に合わせて変えていたと書かれています。

江戸時代になると木綿の普及と共に着物が多様化すると、衣替えは幕府によって1年に4回も行われていました。着物が貴重品だった庶民は、1枚の着物の綿を入れたり抜いたりして工夫していました。

明治期には洋装が盛んになりました。役人や警察官などの制服が定められ、新暦の6月1日から夏服に、10月1日から冬服に改めるようになったのです。これが学校や企業に広まり、衣替えが定着していきました。

近年の猛暑をうけて、制服のある学校では涼しく過ごすために、速乾性の高いポロシャツや薄手のワンピースといった「盛夏服」を導入する動きなども広がっています。

衣替えは時代に合わせて変化してきました。図書館には衣替えやくらしの歴史を知ることができる本がたくさんあります。この機会にぜひ探してみてください。

参考文献

「イラストでたどる女子高生制服100年図鑑」 <383イ>

「神さまがやどる暮らしのしきたり開運 BOOK」 <386カ>

「知っておきたい日本の年中行事事典」 <386シ>



今月のテーマ お酒のある時間。



秋の夜長にゆっくり杯を傾けてお酒を楽しむ——。昔の文豪には、そんな姿がよく似合う気がします。けれど今は、あえてお酒を飲まない「ソバーキュリアス」や、お酒とノンアルコールを交互に楽しむ「ゼブラ飲み」など、お酒との付き合い方も多様になりました。お酒の魅力は、酔うことだけではありません。おいしい肴、すてきな酒器、気の合う人との語らい。お酒を飲む人も、飲まない人も、今夜は乾杯したくなる。そんな「お酒のある時間」を楽しむ本を集めてみました。

図書館カレンダー

開館時間 平日 9:45~19:00
土日祝 9:45~18:00



10月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

見たり聞いたり～新着CDからピックアップ～

『スタンド・バイ・ミー』
バディ・ホリー[ほか]／歌《778ス》

1986 年にアメリカで、そして翌年には日本でも公開された映画「スタンド・バイ・ミー」のサウンドトラックです。ベン・E・キングによるタイトル曲を始め、50～60 年代初期のドゥーワップ、ロックンロール・ナンバーが 10 曲入っています。これを聴くと、また映画を見返したくなる、そんな CD です。

新刊案内

『9 割の日本人のための「ゆる読書」入門』

飯田 一史／著 時事通信出版局 (019 イ)

「活字本を読むこと」だけが読書なのか？ 海外の統計資料などを分析して日本人が無意識に持つ“せまい読書観”を斬り、マンガやオーディオブック、読み聞かせなども立派な読書と見なす、新しいかたちの読書論を展開する。

『警備のプロが教える地震から命を守る!』

倭文 浩樹／著 きずな出版 (369.3 シ)

地震対策は備蓄の量より「動ける設計」で決まる！ 警備のプロが地震が起きた瞬間とその後の暮らしを具体的に解説し、必要な動線・声かけ・行動などを示す。チェックリスト、書き込み式のチェックシートあり。

『砂漠の疑問 50』

篠田 雅人／共著 成山堂書店 (454 サ)

なぜ砂漠ができるのか？ 砂漠の動物はどのように暑さに対応するのか？ 砂漠にはどのようなエネルギー資源があるのか？ 砂漠の地理・気候・動植物から利用・環境問題・将来展望に至るまで Q&A 形式でわかりやすく解説する。

『教養としての盆栽』

依田 徹／著 東洋経済新報社 (627 ヨ)

政治・経済・外交を陰で支える、奥深い盆栽の世界へようこそ。盆栽の基本、樹種・樹形に関する用語、見どころ、飾りかたと鑑賞の作法などを、美しい写真とともに紹介する。盆栽の歴史や、盆栽好きな偉人たちの逸話も掲載。

『もっと知りたい日本の伝統色』

國本 学史／著 東京美術 (757 ク)

古代の「イロ」の発生から近代の「新しい色」の登場まで、色彩文化史を通して「日本の色」を紹介。色の現れと変化、芸術・文化における表現、色材の変遷という3つの視点から、日本の伝統色をとらえ直す。

『しろとくろの偏愛』

千早 茜／著 文藝春秋 (914.6 チ)

何も入らない満腹時でも餅を見ると手が伸びるし、チョコが食べられなくなったら私という存在は死ぬ…。今すぐ食べたい餅とチョコ、口福に満ちたエッセイ。『天然生活』他掲載に書き下ろしを加え書籍化。



新着 CD 案内



空(くう)	《763フ》
螺鈿の箱	《763 マ》
交響詩ウルトラマン／ウルトラセブン	《764コ》
プラダを着た悪魔	《778 フ》
柳家喬太郎落語集 vol.1	《779ヤ1》

8.9 月発表の文学賞受賞作品

第 25 回小林秀雄賞
『生類の思想：体液をめぐる』
藤原辰史

第 25 回新潮ドキュメント賞
『鷗みれ』
繁延あづさ

第62回谷崎潤一郎賞
『チェロ湖』
いしいしんじ

第34回萩原朔太郎賞
『文鳥』
井坂洋子

第13回料理レシピ本大賞(料理部門)

『リュウジ式 生きるための弁当』

リュウジ

第13回料理レシピ本大賞(お菓子部門)

『せっかく作るなら、一生ものの、おいしいお菓子』

小嶋 ルミ

10月映画上映予定

時間：午後2時から 会場：3階視聴覚室

10月10日(土)

タイトル：『最高の人生のつくり方』

字幕・カラー・94 分

監督：ロブ・ライナー

CAST：マイケル・ダグラス／ダイアン・キートン

<2014 年 アメリカ作品>

10月24(土)

タイトル：『アパッチ砦』

字幕・白黒・128 分

監督：ジョン・フォード

CAST：ジョン・ウェイン／ヘンリー・フォンダ

<1948 年 アメリカ作品>